

VOICE

国際地域学研究科
国際地域学専攻 2年

A・H・D・ヒメツマ・マルシルニさん
Ambagha Hewage Dona Himethma Malsiluni

好きな国や地域
カナダ
英語学習の工夫

相手と会話を重ねることが、上達の近道だと思っています



学んでいることは？

女子教育を通して考える貧困とジェンダー

母国スリランカにおける女子教育の実態をケーススタディとして、貧困とジェンダーの両分野を中心に研究を進めています。女子教育の課題解決は、国連のSDGs（持続可能な開発目標）で掲げられている複数のテーマとも重なり、多面的な視点でさらに学びを深めていきたいです。

先生に聞く

国際地域学研究科
教授

黒岩 郁雄 先生
Kuroiwa Ikuo



専門分野

開発経済学、地域経済学

研究していることは？

開発経済学や地域経済学を専門としており、東アジア・東南アジアを中心に、産業発展や地域統合、グローバルバリューチェーンなどの研究を行ってきました。また、これらと並行して、新潟県をはじめとする地域経済の分析や地方創生といったテーマにも取り組んでいます

大学・大学院選びのポイントは？

特定のエリアを総合的に学べる

1つの分野に絞った狭い専門性ではなく、さまざまな国や地域で起きている社会課題に注目し、国際関係や政策形成などに関する理論・分析を総合的に学べるという点で、このコースに魅力を感じました。また、学生自身が研究したいエリアを自由に選べる柔軟性も、自分の希望に合っていました。

大学・大学院の魅力は？

英語で授業を受けられる国際的な環境

この大学を選んだのは、家族が新潟県に住んでいるということもありましたが、学内ではさまざまな国から学びに来ている留学生も多く、国際的な学生同士の交流がとても活発な環境だからです。また、英語による授業のみで修了までに必要な単位を取れることも、ありがたい点です。

理論とデータに基づいた

新潟県の地理的特性を生かした国際地域研究

本研究科は3科目群で構成されており、「国際政治・国際関係研究科目」では理論や概念に加えて、現実の国際問題と政策的課題について学びます。「国際経済・国際開発研究科目」では、貿易・投資の経済発展に果たす役割や、開発途上国が抱える開発課題などについて理解を深めます。また本学が日本海に面する地理的な特色を生かして設置した「北東アジア研究科目」では、同地域について政治・経済・社会など多角的視点から学ぶことができ、なかでもロシア・モンゴル・中国・朝鮮半島に関する研究に強みがあります。

本学を目指す人へメッセージ

教授陣は国際地域の専門家がそろっており、特定の地域を対象にした、国際関係や政治・経済・社会についての理解を深めることができます。語学学習も充実しており、日本人学生は英語、外国人留学生は日本語によるプレゼンテーションを通して、発信力を強めていくことができます。

INFO

取得可能な学位 修士（国際地域学）

定員 10人

学費 入学金 14万1,000円（県内者※）、28万2,000円（県内者以外の者）
授業料 53万5,800円（年間） ※本人またはその配偶者もしくは1親等の親族が、入学する日の1年以上前から引き続き新潟県内に居住している（住民票がある）者

〒950-8680 新潟県新潟市東区海老ヶ瀬471 ☎025-270-1300



大学院

大学院 国際地域学研究科 国際地域学専攻

新潟県立大学

「国際」と「地域」の視点で、専門研究を深化



ドーム型図書館や大学院棟を備えた緑豊かなキャンパス

大学の特徴

新潟県立大学大学院国際地域学研究科は、現代社会が直面する課題に対して「国際」と「地域」の視点から、学術と実践の両面で貢献できる高度専門人材の育成を目指している。国際地域学に関する深い知見と高い英語運用能力を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の輩出を目的とし、出身地や国籍を問わず意欲ある学生を国内外から広く受け入れている。世界各地で研究・教育に携わってきた国際性豊かな教授陣が結集し、少人数制教育で学生たちの研究を支える。2026年度からは、北東アジア研究所の教員が授業に加え、研究指導も担当し、北東アジアに関する専門的な知見をより深く学び、研究を深化させる機会が提供されている。

3つの学問領域で構成された
多角的な専門プログラム

英語・日本語による授業で
高度なコミュニケーション能力を養う

社会人・留学生など
多彩なバックグラウンドの学生が在籍

Pick up

授業紹介

Lectures

国際経済学

本科目では、国際経済学の理論的枠組みを用いて、東アジア経済を探究する。特に、貿易政策と投資政策を中核とする産業政策に焦点をあてる。同様に、東アジア（北東アジア諸国と東南アジア諸国を含む）における経済統合を、産業発展の観点から考察する。受講生は、外向きの貿易政策と地域統合の強化によって急速な経済成長を遂げた東アジアの産業発展を、国際経済理論を用いてどのように説明できるかを学ぶ。

平和研究

本科目では、和平交渉の仲介を行う和平調停を理解することを目的に、その基礎知識、概念、理論的枠組みを学ぶ。具体的に、国際社会が紛争に対処するために用いてきた仲裁、平和維持活動、制裁、軍事介入などの紛争管理手段についても概観しつつ、和平調停の可能性と限界について考察する。受講生は、国際社会による平和創造の取り組みについて理解を深め、これらの問題について分析的に考察する能力を身につけることが期待される。

